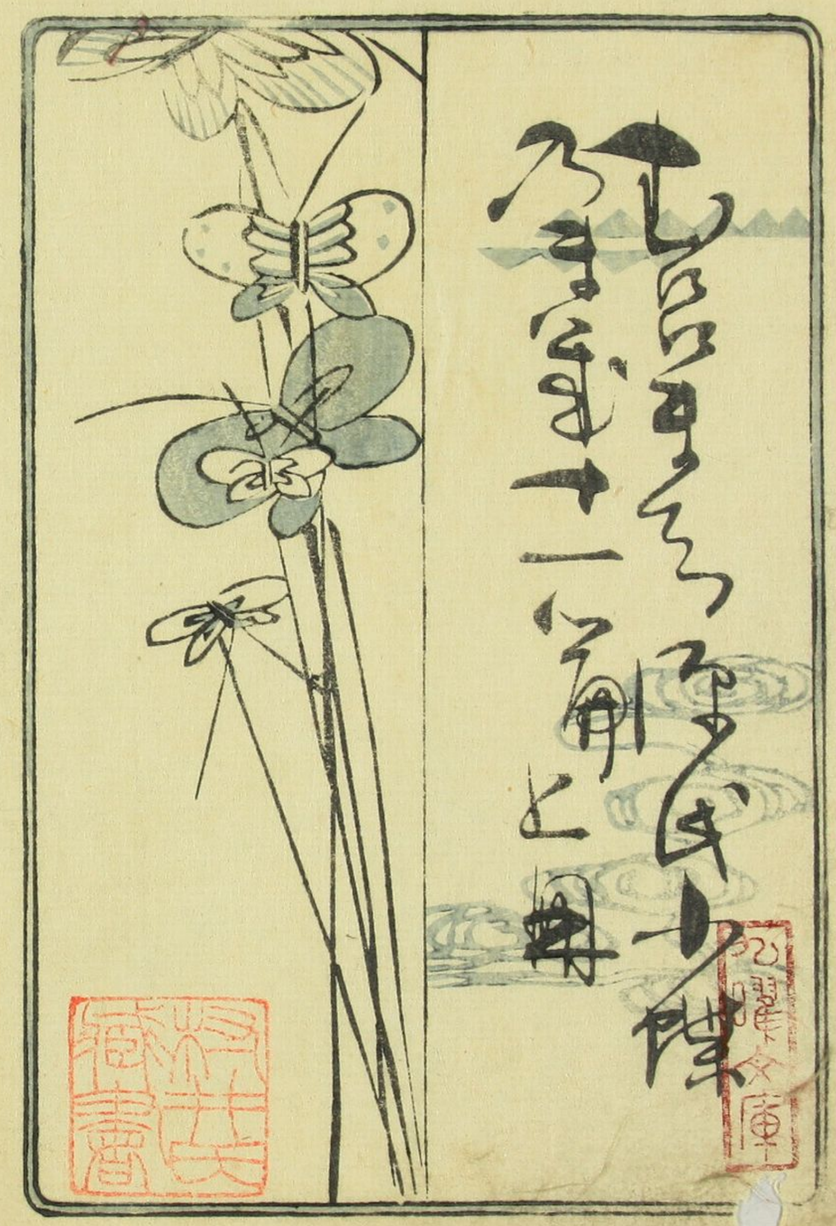
十一編下

十一編上

源氏物語
十一編上

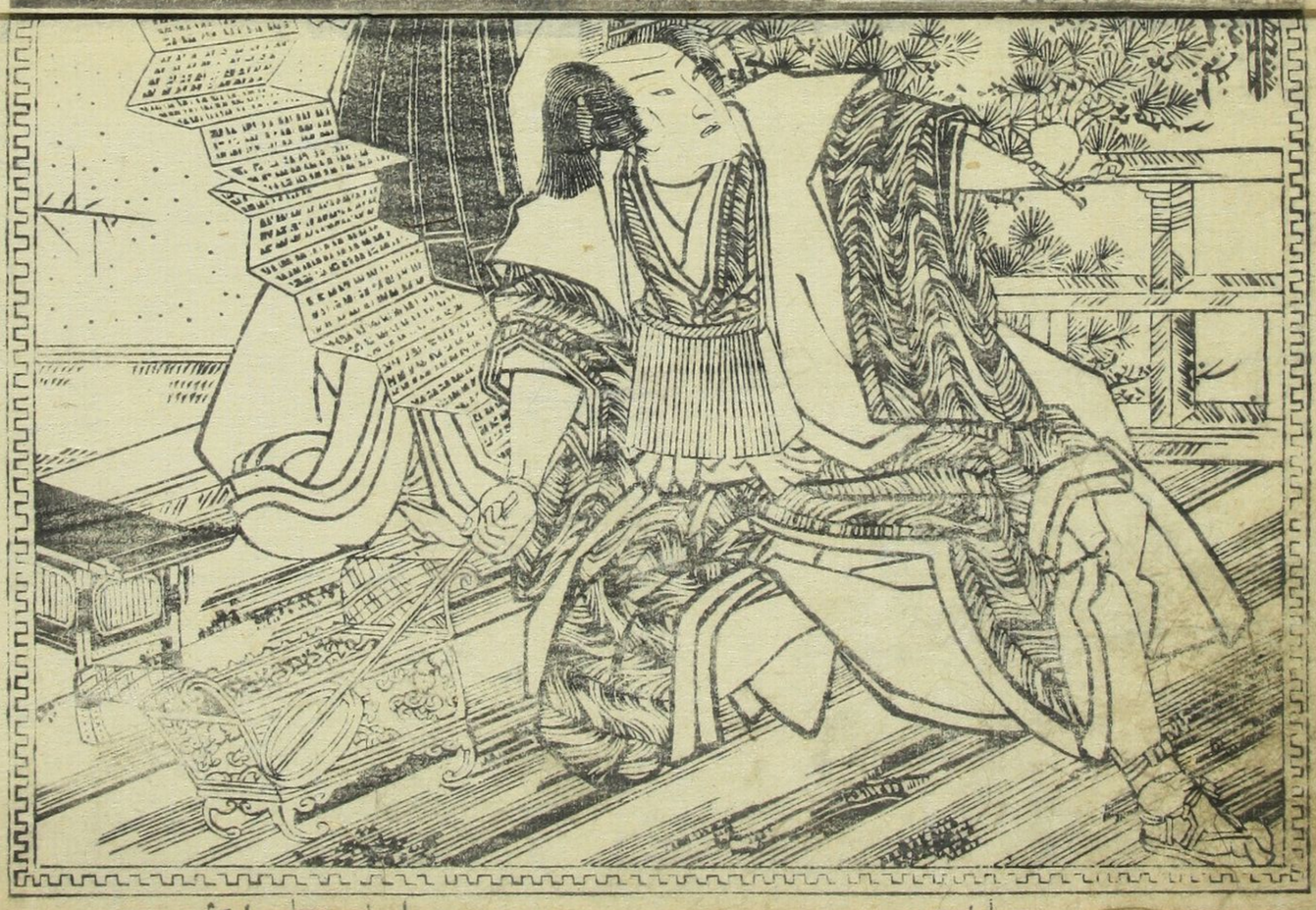


室町十二

このさうしの
ていしのあたにさるがくの
ぢうまかくちをあつく人
るいかのあをとをたくる人の
あるふこと人をイヤあゆのこころも
あ一ちあかうわつきそのあんどあり
初度んのさたをよりだ一をりをぎこ
ゆうどふふとおもひつきてひとうこひの
ことをでちぬか一こどうぢの人こと
作者のわはをりゐ色をゆ歩るを
ちるあ一ゐされどもをこと上ま
のう人こと思ひあんどんゐ
ゆられうをゆ一うのいゐをれ
ゆせをさかり一こをとろがへる
のかんぐくやをんでぬ一ぬず
かきつづらるゆ上ぐゐ上をを

へをへをとをとけてをまをを
足功者の合巻ねのおとらのを
このみよこてのさうしをゆ
蔦ゆの際のをぢむちうゆめの
ぢうゐるかをぶりあ一ゆ対ゆをう
をいをぐゆをうとひをらつをを
慶應三年
の春
折をる
くゆねひを
序をを

笠置妙音比丘尼
廣澄信濃忠左



御旅宿
肥

本家
實母散
中橋酒傳馬町 千葉堂孝輔製

鼠祠通夜譚
四編 柳亭種彦作
八編 梅蝶樓國貞画

厚化粧萬年嶋田
初編 柳亭種彦作
辰春 梅蝶樓國貞画

這ハ世に普く沙汰せらるゝ姐己阿百々傳ゆゑ悪霊
黄繰芦田の家に仇做んとせし忠臣孝女あり彼等が苦
あどまる表まで花やう歌に甘く理のはさら草双紙

小
種彦作
國貞
十一編下

日本文庫

氷

廿三夜

家士之墓

氷

菊
紫

夢

部屋そけ〜ふの
ちゃうろう高
浜風さま
ろうもかせ山

慶應四年戊辰陽春開板標目

新局九尾傳 七編一冊 編次 梅蝶楼國貞画 爲永春水作

室町源氏胡蝶巻 十二編 種彦作 十四篇 國貞画

偽石清水恋の結び 四編 如泉作 大尾 國貞画

童謡妙々車 廿二編 種彦作 廿三編 廿四編 國貞画

薄化粧幻日記 十七編 春水作 十八編 十九編 國貞画

七福神 九編 種彦作 十編 十一編 十二編 國貞画

筆海西國聞書 十一編 種彦作 十二編 十三編 國貞画

明鴉墨画速神福 十三編 種彦作 十四編 十五編 國貞画

花封蓋玉章 十編 種彦作 大尾 國貞画

八犬傳犬の双紙 四十九編 柳亭 五十編 五十一編 柳亭 國貞画

南傳馬町書肆 蔦屋吉蔵